

(今、お元気な人のための)

お彼岸への正しい渡りかた

(一) スツキリ生活 (掃除・整理整頓) を心がける

○ 布施のこころ

「後に残るのは、集めたものではなく、与えたものである。」

(二) 崇高なあり方…よき仏弟子として

○ 三帰依

「比丘たちよ。(希望者を) 出家せしめ、戒を授けるにはかようにするがよい。初めに彼らの髭や髪を剃り、彼らに袈裟衣をつけ、上衣を一方の肩にかけ、汝らの足を礼し、うづくまって合掌させ、かように唱えしめるがよい。

『われは仏に帰依したてまつる。われは法に帰依したてまつる。われは聖衆に帰依したてまつる』

と。二たび、三たび、かように唱えしめるがよい。わたしはこの三帰依によって、出家せしめ、受戒せしめることを許した
い。」(釈尊)

棄恩入無為 眞実報恩者 ※ 戒名

○ 懺悔

わが身を顧みる (三煩惱⇨欲しい、憎い、おろか)

↓ 「ごめんなさい」と「ありがとう」

(三) そのとき、此岸での迷いとは

境涯愛、自体愛、当生愛

(四) 望ましくない行き先とは

(苦・痛・辛・怒・飢・渴・暗愚)

(五) 迷わず彼岸にたどり着くには

門門不同八万四：一声称念罪皆除

(六) 彼岸はどのようなところ

到彼華開闡妙法 十地願行自然彰

(七) 念仏衆生 撰取不捨

「其人臨命終時 阿弥陀仏 与諸聖衆 現在其前

是人終時 心不顛倒 即得往生 阿弥陀仏 極樂国土」

(その人の命が終わる時に臨んで、阿弥陀仏は極樂世界の諸々の聖者たちとともにその人の前にお姿をお現しになる。

それゆえに、その人の命が終わるとき、心は顛倒しない。命終わるやいなや、阿弥陀仏の極樂国土に直ちに往生することができるのである。) 『阿弥陀経』

